

# HATAキャリ ～企業説明会～

## 参加報告

長野県土地家屋調査士会 中信支部

川上 誠

令和7年2月28日に松本市立波田中学校にてHATAキャリ～企業説明会～が開催されました。松本市立波田中学校より波田商工会へ依頼された形で、生徒一人一人が近隣の地域の様々な分野の業種を知り、進路選択の可能性を広げる目的との事でした。

対象は中学1年生であり、制限時間が20分の中で業務の説明をし、それを3回行うというものでありました。限られた時間の中で土地家屋調査士という仕事について説明するにはどうすれば良いか、また、先生からは中学生なのであまり簡単すぎる内容ではなく少し深い話もして欲しいとのお願いがあり、とても悩んでおりました。

そんな中、この件について中信支部の田口先生とお話をする機会があり、先生も同様に学校での職業説明を経験されたお話を聞く事ができました。当時の先生が用意された資料を提供いただき、その中から「登記」と「相続」という言葉について学生時代には伝えておきたい旨拝見しました。せっかく土地家屋調査士という仕事を紹介するのであればこの言葉の説明も含めて業務の内容や私達が抱える課題についても話をしてみようと試行錯誤し、測量機の体験ができれば生徒にとっても興味深い時間となると考えましたが、そこまでの時間はとれないと考えプロジェクターを使用しての説明のみとしました。

内容としては登記記録に書かれている事の意味や権利関係の主張について、相続登記については義務化された背景や登記記録にどう反映されるのか、やらないとどんな事が問題になるのか等について説明した上で、土地の「境界確定業務」についての話をし、業務の内容や、苦勞する点、やりがいのある点について説明しました。

当日、生徒達の反応はとても真剣に聞いてくれている様子で、終始メモを取りながら聞いていただきました。また、やはり一般にも馴染みがない職業なので見守っている先生も説明を聞いてくれていました。私は、自身が作成した内容に基づいて何回も20分以内に説明を終えるよう練習をしましたが本番では1回目については時間をオーバーしてしまいました。しかし、それでも続けるよう先生からも支援していただき、緊張しながらも何とか終える事ができました。

講義後は生徒からの質問時間を設けており「資格は必要ですか?」、「独立には何年くらいの経験が必要ですか?」という事、やりがいや大変な思いをする事など沢山の質問をして頂きました。そういった質問をいただける事で興味を持ってくれたんだなと思い、私自身もこの会に協力する事ができて良かったと思います。また、別途先生からも同様の質問を何回か頂き、やはり土地家屋調査士はあまり知られていない職業なんだなと再認識しました。

最後になりますが、土地家屋調査士は高齢化が進んでおり、やはり次代の土地家屋調査士を増員していく体制が必要だと感じました。私たちの職業は専門的な知識が必要であり、まだまだAIが取ってかわるような仕事では無いと考えています。今回の事で改めて実感し中信支部の黒川さんにも相談したところ、社会事業部では出前講座を行っている事を知りました。もし機会があれば中学生にも測量体験などの出前講座を推進していただき、よりこの仕事一般に馴染むようにしていただければと思います。また、私自身もこの説明会を通じて大変勉強になりました。僥越ながら今後もこういった事業にも協力していきたいと思っています。



#### 当日の状況

初めての事で色々大変でしたが  
ご協力頂いた皆様のおかげで終  
える事ができました。

本当にありがとうございます。